

スプリング・サイエンスキャンプ 2015 概要

1. 趣旨

わが国が、将来にわたり、科学技術で世界をリードしていくためには、次代を担う才能豊かな人材を継続的、体系的に育成していく必要があります。

サイエンスキャンプは、先進的な研究テーマに取り組む大学・公的研究機関・民間企業等を会場に、高等学校、中等教育学校後期課程(4～6 学年)、高等専門学校(1～3 学年)等に在籍する生徒を対象とした先進的科学技术体験合宿プログラムです。先進的な研究施設や実験装置がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心、理数の才能等を育てることをねらいとしています。

2. 事業の概要

「スプリング・サイエンスキャンプ 2015」は、2015 年 3 月の春休み期間中、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、ものづくり技術、物理学、化学、数学等様々な分野において、先進的な研究テーマに取り組む大学、民間企業等の 12 会場が、それぞれ 8～20 名(計 168 名)の規模で実施する科学技术体験合宿プログラムです。各会場は、それぞれの機関の特徴を活かした講義・観察・実験・実習等によるプログラムを実施します。参加者は 2 泊 3 日の合宿生活を送りながら、第一線で活躍する研究者・技術者による直接指導を受けます。

3. 主催

独立行政法人 科学技術振興機構、会場となる実施機関(12 機関)

サイエンスキャンプ

【大学】

慶應義塾大学先端生命科学研究所、国立大学法人東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構、東京工科大学応用生物学部、国立大学法人新潟大学脳研究所、長浜バイオ大学、国立大学法人山口大学工学部、国立大学法人鹿屋体育大学体育学部

【民間企業・その他】

公益財団法人かずさDNA研究所、日本電子株式会社、鹿島建設株式会社技術研究所、日本電信電話株式会社、東レ株式会社地球環境研究所

4. 後援

文部科学省

5. サイエンスキャンプ本部事務局

公益財団法人 日本科学技術振興財団

6. 応募資格

応募締切日時時点で、日本国内の高等学校、中等教育学校後期課程(4～6 学年)または高等専門学校(1～3 学年)等に在籍する生徒。これまでにサイエンスキャンプの参加経験がある人でも応募できます。

7. 応募受付期間

2014 年 12 月 8 日(月)10:00～2015 年 1 月 20 日(火)17:00

8. 応募方法

「募集要項」を確認のうえ、下記ホームページの応募登録サイトから申し込んでください。

サイエンスキャンプ募集ホームページ：<http://www.jst.go.jp/cpse/sciencecamp/camp/>

※応募は 1 人 1 件のみです。複数の応募は無効となりますのでご注意ください。

9. 選考方法および決定通知

- (1) 「応募登録」に基づいて各プログラム実施機関が選考を行い、参加者を決定します。
 - (2) 選考結果は、2月中旬、応募者本人宛に郵送で通知します。また、参加者には、集合場所への経路や持ち物など詳細を説明した「参加のしおり」、その他参加にあたり作成いただく書類も送付します。
- ※「応募登録」に記載された住所に郵送します。

選考結果通知：2015年2月中旬

10. 参加費

参加費：2,000円（支払いは参加決定後です）

- ・プログラム期間中の宿舎や食事は主催者が用意します。参加費は食事代の一部に充当します。
- ・宿泊施設では、寝具にそば殻が使用されている場合や、相部屋・大部屋での利用となる場合があります。また、食事は基本的に全員同じ内容が提供されます。重いアレルギー症状でお悩みの方やその他の疾病をお持ちの方などは、ご参加を検討される段階で本部事務局へお問合せください（個別対応を要する場合、一部の実費をご負担いただく場合があります）。
- ・現地集合・現地解散です（自宅と会場間の往復交通費は自己負担となります）。

11. 参加者サポート

集合から解散までの間、実施機関担当者、アドバイザーの先生（高校教員等）、引率スタッフが、プログラムが円滑に実施されるようにサイエンスキャンプの運営を行い、参加者と寝食を共にしながらその学習や生活をサポートします。

〈応募先・問合せ先〉

●応募の内容に関するお問合せ先：

サイエンスキャンプ本部事務局：公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部内
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

電話：03-3212-2454（土日、祝祭日及び12月29日～1月3日を除く平日9:30～12:00、13:00～17:00）

FAX：03-3212-0014 E-mail：camp-boshu26@jsf.or.jp

●応募登録サイトに関する技術的問合せ先：E-mail：camp-boshu26@jsf.or.jp

※Eメールのみのお問合せになります。

※12月26日17:00～1月5日9:30の期間中は回答できません。

※回答は、Eメールで行います。年末年始を除く平日3日間程度（最大で5日程度）かかる場合があります。

※締切直前（2015年1月16日以降）のお問合せには対応できない場合があります。

サイエンスキャンプ募集ホームページ：<http://www.jst.go.jp/cpse/sciencecamp/camp/>

スマートフォン専用サイエンスキャンプ募集ホームページ：<http://www.jst.go.jp/cpse/sciencecamp/camp/sp/>

開催カレンダー

サイエンスキャンプ

※開催内容については変更が生じる場合がありますので、サイエンスキャンプ募集ホームページで最新の情報をご確認ください。

プログラムタイトル	実施機関	会期	募集人数	プログラム関連分野
ナノメートルの世界を覗く ～電子顕微鏡で科学の扉を開こう～	日本電子株式会社	3月23日(月)～ 3月25日(水)	12	電子顕微鏡、 ナノテクノロジー、 SEM
「医薬理工農」を融合した最先端バイオ	慶應義塾大学 先端生命科学研究所	3月24日(火)～ 3月26日(木)	16	遺伝子工学、 メタボローム解析、 システム生物学
暮らしを守る。いのちを守る。	鹿島建設株式会社 技術研究所	3月24日(火)～ 3月26日(木)	12	建築学、 ビル風、 生物多様性
情報通信を支える先端技術を体験しよう	日本電信電話株式会社 厚木研究開発センター	3月24日(火)～ 3月26日(木)	12	物理学、 情報学、 システム工学
脳を見る、知る、調べる	新潟大学 脳研究所	3月24日(火)～ 3月26日(木)	8	神経科学
長浜から臨むバイオの世界	長浜バイオ大学	3月24日(火)～ 3月26日(木)	20	分子生物学、 生態学、 農学
21世紀の地球環境改善へ ～水処理分離膜の技術～	東レ株式会社 地球環境研究所	3月24日(火)～ 3月26日(木)	8	地球環境、 水処理、 分離膜
天文、物理と数学で宇宙の謎解きに挑戦	東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)	3月25日(水)～ 3月27日(金)	20	宇宙物理学、 数学、 天文学
有用酵素を探し出そう！ ～環境微生物の遺伝子資源～	かずさDNA研究所	3月25日(水)～ 3月27日(金)	12	DNA、 メタゲノム、 生命科学
電気を流すとフィルムの色が変わる表示素子 を作ろう	山口大学 工学部 応用化学科	3月25日(水)～ 3月27日(金)	12	応用化学、 高分子化学、 電気化学
スポーツ科学の最前線～From Gene to Gold～	鹿屋体育大学 体育学部	3月25日(水)～ 3月27日(金)	16	運動生理学、 バイオメカニクス、 スポーツ心理学
化粧品を科学する ～皮膚の機能と化粧品の仕組み～	東京工科大学 応用生物学部	3月27日(金)～ 3月29日(日)	20	皮膚科学、 応用化学、 生物学

サイエンスキャンプについて

1. 概要

サイエンスキャンプは、先進的な研究テーマに取り組む大学・公的研究機関・民間企業等を会場に、高等学校、中等教育学校後期課程(4～6学年)、高等専門学校(1～3学年)等に在籍する生徒を対象とした先進的科学技术体験合宿プログラムです。本格的な研究環境で、第一線で活躍する研究者・技術者から実験・実習・講義等の直接指導を受けることにより、様々な分野の科学技術の先端に触れてもらう機会を提供しています。

2. 経緯

1995年の夏に、科学技術庁(現在の文部科学省)所管の国立研究所(現在の独立行政法人等)9機関を会場としてスタートしました。1997年の第3回サイエンスキャンプからは科学技術庁以外の省庁(現在の環境省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、総務省)の所管する研究所も加わって規模を拡大し、毎年高校生等の夏休みにあわせて実施されてきました。

その後、2003年の春休みからは、民間企業の研究部門や大学の理系学部、大学附属の研究所等が加わり、夏(サマー)・冬(ウインター)・春(スプリング)の年3回の開催になりました。

プログラムの日程は2泊3日が基本ですが、2011年度より3泊4日以上探究・深化型プログラム「サイエンスキャンプDX(ディー・エックス)」も始まり、NPO法人等も実施機関に加えて、さらに充実した内容で開催しています。

3. 実績

サイエンスキャンプは今年度で20年目を迎えました。2014年夏までの参加者数は約14,000名にのぼります。

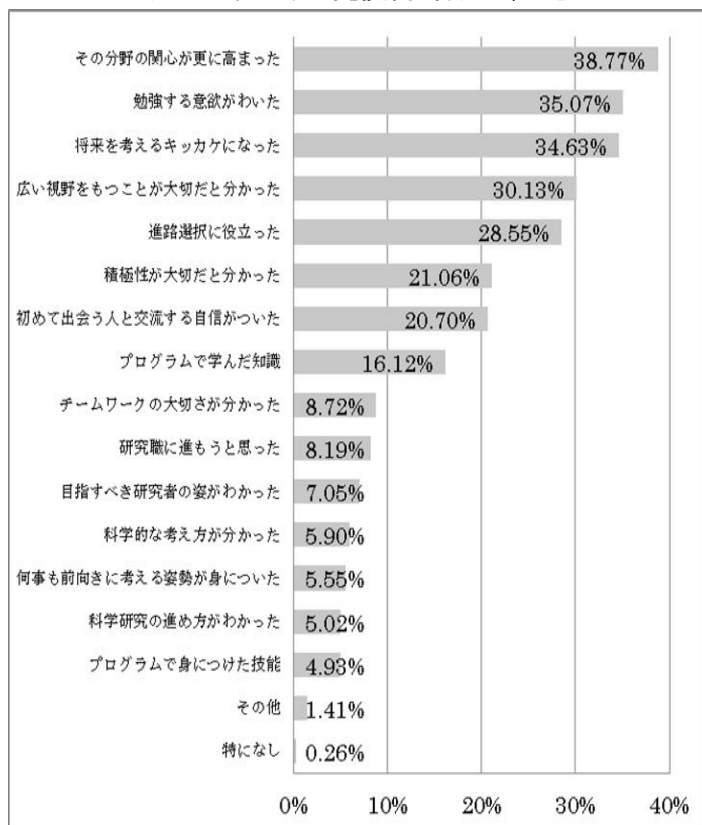
参加者アンケートによると、多くの参加者が、サイエンスキャンプで体験した科学技術分野への関心を更に高め、広い視野や積極性を持つことの大切さに気づいています。また将来を考えるきっかけにもなっています。

サイエンスキャンプへの参加が、科学技術に対する興味関心や進路に少なからず影響を与えていることは、1995年度～2003年度までの参加者に対して行った追跡調査(2004年3月集計)の結果からも読み取れます。

サイエンスキャンプOB、OGには、夢を実現して研究者や技術者となっている人も多く、さらにサイエンスキャンプで高校生の指導にあたる人も現れてきています。

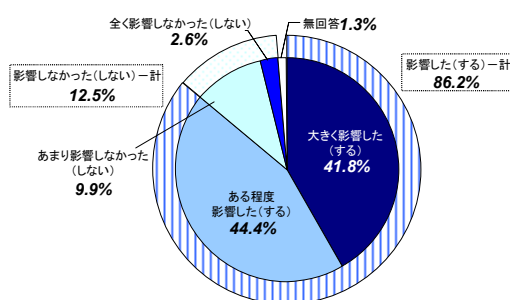
<2013年度サイエンスキャンプ参加者に対するアンケート調査結果より>

今回のサイエンスキャンプを通して、自分自身の役に立ったと思うことはありますか。【複数回答、N=1,135】



<1995～2003年度サイエンスキャンプ参加者に対する追跡調査結果より>

サイエンスキャンプの経験は、あなたが進学先を選択する際にどのくらいプラスの影響を与えた(あるいは与える)と思いますか? 【N=1,373】



サイエンスキャンプに参加した当事を振り返ると、キャンプに参加することで、科学技術に対するあなたの興味・関心はどのように変化しましたか? 【N=1,373】

